

# 平成 28 年度事業報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

当協会は、内閣府の認定を受けた公益社団法人であり、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、一般国民の海事に関する知識の啓発を図り、あわせて海事産業の発展を期することにより、平和を希求する海洋国家日本の経済社会の維持発展と国民生活の安定向上に寄与することを目的としています。

近畿運輸局をはじめ、関係機関・関係諸団体・関係業界各位並びに会員の皆様方の絶大なご支援のお陰をもちまして、平成 28 年度の公益目的事業等を実施することができましたので、その概要をご報告申し上げます。

## I、公益目的事業

### 1、体験活動等（公益目的事業区分 4）

#### (1) ～船との出会い事業～ 「海の教室」

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存しているわが国では、海運・造船・船用工業・港湾・物流などの海事産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業の重要性を理解してもらい、海に対する関心を高めてもらうことが不可欠です。

このため、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業「船との出会い事業」として、特に若い世代の海への理解を深めるとともに、教育現場の理解を得るため、関係団体・事業者・学校・教育委員会などの協力を得て、各種船舶の乗船体験、専門家による講話・実習や船舶・港湾・造船所・倉庫・海洋博物館など海事産業関連施設の見学を行う体験型学習会「海の教室」を近畿運輸局との共催により実施しました。

今年度は、近畿各地の中学校（約 1,100 校）及び各地区の関係先に ～船との出会い事業～ 「海の教室」 募集チラシや冊子「日本の海運 SHIPPINGNOW」を配布するとともに、近畿若年内航船員確保推進協議会、舞鶴海事産業協会、和歌山県海運協会、紀南海運協会、大阪府冷蔵倉庫協会等の海事・物流関係団体と連携し、次のとおり実施することができました。



#### 1. 乗船体験会及び海事産業関連施設見学会

4月26日 「サンタマリア」乗船体験会（船長のお話し、ロープワーク教室、大阪港内見学） & 「海遊館」見学会（学校の遠足）  
於：大阪市大阪港（近畿若年内航船員確保推進協議会と共催）

- 7月1日 大阪市立都島小学校3年生と先生66名参加  
「瀨峡観光船」乗船体験会（船長のお話し、熊野川見学）& ウォータージェット船修繕工場見学会（船の仕組みについてのお話し）  
於：和歌山県新宮市熊野川、（紀南海運協会と共催）  
新宮立市高田小学校1～6年生と先生19名参加
- 7月5日 「紀の松島めぐり観光船」乗船体験会（湾内見学）&那智勝浦漁港（漁協組合員さんのお話し、マグロの市場見学）・くじらの博物館見学会（学芸員のお話し、イルカ・ウニとのふれあい、管内展示見学）  
於：和歌山県那智勝浦町・太地町、（紀南海運協会と共催）  
那智勝浦町立市野々小学校5.6年生と先生12名参加
- 7月18日 いずみさの関空マリーナ・マリンスフェスティバル、「キッズボート」自己操縦乗船体験会  
於：大阪府泉佐野市、（近畿若年内航船員確保推進協議会・海の駅「いずみさの関空マリーナ」他と共催）  
泉佐野市在住の小学4～6年生と保護者90名参加
- 7月26日 親子で造船所見学会（大型船の建造方法と事業所の歴史についてのお話し）  
於：京都府舞鶴市・ジャパンマリンユナイテッド（株）舞鶴事業所（舞鶴海事産業協会と共催）  
一般公募小学3年生以上～中学生と保護者11名参加
- 8月2日 神戸大学附属練習船「深江丸」体験航海（船橋や機関室の見学・ロープワーク・明石海峡航路見学）&講演「海運の重要性和船員の仕事」  
於：兵庫県神戸市・神戸大学海事科学部深江キャンパス（深江港発着）（近畿内航船員対策協議会、神戸大学海事科学部、神戸地区内航船員確保対策協議会と共催）  
工業高校生と工業高校教諭31名参加
- 10月14日 「紀の松島めぐり観光船」乗船体験会（湾内見学）&那智勝浦漁港（漁協組合員さんのお話し、マグロの市場見学）・くじらの博物館見学会（学芸員のお話し、イルカ・ウニとのふれあい、管内展示見学）  
於：和歌山県那智勝浦町・太地町、（紀南海運協会と共催）  
那智勝浦町立字久井小学校5年生と先生30名参加
- 10月21日 「紀の松島めぐり観光船」乗船体験会（湾内見学）&那智勝浦漁港（漁協組合員さんのお話し、マグロの市場見学）・くじらの博物館見学会（学芸員のお話し、イルカ・ウニとのふれあい、管内展示見学）  
於：和歌山県那智勝浦町・太地町、（紀南海運協会と共催）  
串本町立西向小学校5.6年生と先生27名参加
- 10月25日 フェリー「さんふらわあ あいぼり」見学と船員の仕事について講話&佐川急便大阪湾岸センター（舞洲SRC）施設見

学会

於：大阪市大阪港、（近畿若年内航船員確保推進協議会と共催）

豊中市立第七中学校2年生と先生 118名参加

11月19日 「南海フェリー」乗船体験会（海と船に関する講話・船内見学・ライフジャケット着用体験）&とくしま動物園見学会

於：和歌山市・徳島市、（和歌山県海運協会他と共催）

公募小学4年生以上と保護者 50名参加（教育委員会を通じて募集）

平成29年3月28日 冷蔵倉庫見学会&サンタマリア乗船体験会

於：大阪市大阪港、（大阪府冷蔵倉庫協会と共催）

公募小学生と保護者 48名参加



サンタマリア乗船体験会

## 2、海の日キャンペーン・海の月間（公益目的事業区分8）

### （1）「海の日」・「海の月間」関連行事広報事業

国民の祝日「海の日」を迎えるに当たり、国土交通省主唱の下、各地で実施される「海の月間」には、各関係機関のご支援並びに関係諸団体のご協力をいただき、多種多様な関連行事が行われました。

大阪地区では「大阪地区海の月間実行委員会」を組織し、各運輸支局・海事事務所所在地においても関係団体が連携し、青少年をはじめ広く一般市民の海の恩恵に対する関心を高め、海や海事産業の重要性を認識してもらうことを目的とした多彩な催しが行われました。

当協会は、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業である「海の日」・「海の月間」関連行事広報として、近畿地区で行われる各種イベントについて平成28年「海の月間」行事案内を作成し当協会ホームページや「海の時刻表（7月発行）」に掲載し、関係団体が開催する「海の日」・「海の月間」行事と連携して広報資料や海の日グッズを配布するなど、国民の祝日「海の日」（海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日）の意義を理解してもらうための広報活動を行いました。

### （2）「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」表彰式典・祝賀会

平成 28 年「海の日」にあたり、大阪では、7 月 19 日（火）に海遊館ホールにおいて、近畿運輸局・大阪海上保安監部の主催による海事関係功労者表彰式典が多数のご来賓の出席をいただき盛大に行われるとともに、海遊館エントランスビルに「中学生海の絵画コンクール」と「海の写真コンクール」の上位入選作品を展示し、近畿運輸局長賞・大阪海上保安監部長賞・大阪府知事賞の表彰が行われました。

引き続き、海事産業の重要性を再認識するための啓発活動として、各種関係団体のご協賛をいただき、当協会主催による「海の日祝賀会」をホテルシーガルてんぽーざん大阪において開催し、受賞者を中心に同伴家族・一般参加者（受賞者の知人等）・行政・報道・海事関係者の皆様方とともに、国民の祝日「海の日」をお祝いすることにより、海事産業の業務に精励してきた方々への感謝を表すとともに、「海の日」の意義が広く一般市民に理解され定着するよう海事広報活動を行いました。

また、舞鶴・和歌山・勝浦の運輸支局・海事事務所においても、それぞれ関係者のご出席をいただき海事関係功労者表彰式と海の日祝賀会が行われました。

当協会は、「海の日」表彰候補者の推薦について広く一般に周知するとともに、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」の推薦と、海事関係事業の従事者として永年勤続された方々の「海事関係功労者表彰」の候補者を推薦しました。

当日、海事関係功労者表彰の栄に輝かれた方々は、いずれも多年にわたり海事関係の業務に従事され功績のあった方々であり、受賞者の内訳は、国土交通大臣表彰 15 名、近畿運輸局長表彰 59 名、海上保安庁長官表彰（感謝状）1 名、大阪海上保安監部長表彰（感謝状）1 名の方々でした。



### 3、表彰、コンクール（公益目的事業区分 14）

#### （1）第 53 回中学生海の絵画コンクール

わが国は、海からの恵みを受け、国民生活の安定向上と産業活動の維持発展の基盤を、海外貿易と海上輸送に依存する四面環海の国であり、海運・造船・港湾・物流・船舶産業などの海事産業の働きは極めて重要です。

このため、次代を担う中学生から「海の絵画」を募集することにより、海事に関する関心を高め、海事知識を深めてもらうことを目的に、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、(株)日本海事新聞社の後援のもとに実施しました。

本年も近畿各地の中学校・絵画教室(約1,100校)及び関係先に募集チラシを配布し、船舶・海の生物・海や船で働く人・海の環境保全など海を自由に表現した絵を募集したところ、41校・533点の応募がありました。

審査は、山中卓・平井洋子両先生にお願いし、金賞1点(近畿運輸局長賞)、銀賞3点(近畿海事広報協会会長賞)、銅賞6点(同)、佳作30点(同)を決定し、上位入選作品については、7月12日から8月9日まで、海遊館エントランスビルにおいて展示会を開催するとともに、全ての入選作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」とホームページに掲載しました。

また、「海事関係功労者表彰式典」で金賞(近畿運輸局長賞)の入選作品を表彰するとともに、銀賞・銅賞・佳作の入賞者に対する賞状・賞品と参加者への参加賞を各中学校に送付しました。

金賞(近畿運輸局長賞)は、和歌山市立明和中学校1年・村田茜さん、銀賞(近畿海事広報協会会長賞)は、東大阪市立弥刀中学校2年・山口光さん、大阪市立都島中学校2年・車萌々子さん、京都市立修学院中学校3年・岩松更紗さんが入選されました。

金賞・銀賞の副賞として、帆船「みらいへ」に無料で乗船体験ができるよう、一般社団法人グローバル人材育成推進機構から「一日体験航海特別招待券」が贈呈されました。

「全国中学生海の絵画コンクール」が本年度より、全国絵画コンクール「我ら海の子展」に統合されたため、第44回「我ら海の子展」中学生の部に、全ての応募作品(応募作品の返却を希望する中学校を除く。)を団体として応募しました。

東京で行われた「我ら海の子展」の審査会において、「がんばろう日本賞」に大阪市立阿倍野中学校2年・奥田晏弓さん、「佳作」に、宇陀市立菟田野中学校2年・橋本朱真さん、京都市立向島中学校2年・松田碧さん、京都市立修学院中学校3年・岩松更紗さんが入選し、第44回「我ら海の子展」特別賞・金賞・がんばろう日本賞の受賞作品は、9月5日から16日まで、国土交通省1階ロビーで展示されました。





近畿運輸局長賞 村田茜さん 「栄幸丸」

## (2) 第50回中学生海の作文コンクール

中学生海の絵画コンクールと同様に、次代を担う少年・少女に海や船に対する関心を深めてもらうため、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、(株)日本海事新聞社の後援を得て、本年も近畿各地の中学校約1,100校及び関係先に募集チラシを配布し、中学校生徒から、海や船などを題材とする作文を募集したところ、19校265点の応募がありました。

審査を高田文月先生(大阪文学学校講師)にお願いし、金賞1点(近畿運輸局長賞)、銀賞3点(近畿海事広報協会会長賞)、銅賞6点(同)、佳作30点(同)を決定しました。

金賞は、帝塚山中学校1年・渡部有咲さん、銀賞は、近畿大学附属中学校3年・綾野亜美さん、大津市立志賀中学校1年・永田美琴さん、宮津市立栗田中学校2年・大森愛菜さんが入選されました。

上位10点の入選作品については、当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、全入選作品を当協会ホームページで公開し、入選者に対する賞状・賞品と参加者全員への参加賞を各中学校に送付しました。

### 第50回「中学生海の作文コンクール」・選評

#### ★金賞「海」

瀬戸内海に浮かぶ島に祖母を訪ね、都会の暮らしでは体験できない自然の豊かさを身近に感じて素直に綴っています。この作者は実際に自分の目でみた風景や自然のなかの具体的な生き物にふれて自然の恵みについて語り、地元の人の方を紹介することで自分の気づかなかった自然破壊などにふれ、問題提起しています。タイトルはたとえば「祖母の海」などのように内容をもっと表す工夫をするといいでしょ。

大阪文学学校講師 高田文月

### (3) 第38回海の写真コンクール

「海の日」・「海の月間」関連行事の一つとして、海事分野への関心を深め、海事知識の啓発・向上を図るため、広く海・湖・川・魚などをテーマとした写真を、地域・年齢などは問わず全国から募集しました。

この事業は、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、(公財)関西・大阪21世紀協会、(株)海遊館、(株)日本海事新聞社、(株)海事プレス社の後援のもと、大阪写真材料商業組合、(公財)海上保安協会大阪支部、大阪府港湾協会、(公社)大阪港振興協会、大阪フェリー協会、近畿旅客船協会、(一社)日本海事代理士会の協賛と大阪水上バス(株)、近江トラベル(株)、四国開発フェリー(株)、新日本海フェリー(株)、南海フェリー(株)、阪九フェリー(株)、琵琶湖汽船(株)、(株)フェリーさんふらわあ、マルエーフェリー(株)、宮崎カーフェリー(株)、(株)名門大洋フェリーの各船社からの協力を得て実施しました。

本年もホームページでの広報や関係先への募集チラシの配布により、海をテーマとした写真を募集したところ、全国各地より402名、1,266点の応募があり、審査会を、笹田金吾先生(全日本写真連盟総本部顧問)を中心に後援・協賛団体の代表者を交えた審査員により実施し、推薦1・特選2・特別賞1・準特選6・入選31、計41点の入賞を決定しました。

推薦(近畿運輸局長賞)は平垣日出男さん(岡山県)、特選の(大阪府知事賞)は吉田徹さん(奈良県)、(大阪市長賞)は上田勇司さん(大阪府)、特別賞(大阪海上保安監部長賞)は竹下邦茂さん(大阪府)、準特選の(大阪商工会議所会頭賞)は吉村誠さん(奈良県)、(関西・大阪21世紀協会理事長賞)は堅山勝英さん(大阪府)、(海遊館社長賞)は藤松政晴さん(佐賀県)、(日本海事新聞社社長賞)は高橋一吉さん(兵庫県)、(海事プレス社長賞)は村上翼さん(愛媛県)、(近畿海事広報協会会長賞)は大社正照さん(鹿児島県)の方々です。

上位入選作品について、7月12日から8月9日まで、海遊館エントランスビルにおいて展示会を開催するとともに、全ての入選作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」とホームページに掲載しました。

また、一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業である「海事知識の普及事業」として、ボートレース場・ボートピアにおいて「海の写真コンクール平成28年入選作品展」を次のとおり開催しました。

1. 「住之江ボートレース場」  
実施時期 平成28年10月15日～11月30日  
入場者数 来場者 268,449人
2. 「琵琶湖ボートレース場」  
実施時期 平成28年10月15日～11月30日  
入場者数 来場者 31,620人
3. 「ボートピア梅田」  
実施時期 平成28年10月15日～11月30日  
入場者数 来場者 291,924人
4. 「ボートピア京都やわた」

実施時期 平成 28 年 10 月 15 日～11 月 30 日  
入場者数 来場者 47,837 人



近畿運輸局長賞 平垣日出男さん「瀬戸内海航行」

#### 4、上記の事業区分に該当しない事業（公益目的事業区分 18）

##### （1）海事知識の普及事業

一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業として、「海の日」・「海の月間」関連行事やボートレース場等で行われている下記イベント会場において、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズなどの資料配布を行なうことにより、海事知識の普及事業を実施しました。

##### 1. 海の月間にあわせた海事知識の普及事業

実施時期 平成 28 年 7 月 1 日(金)～31 日(日)  
実施場所 大阪府大阪市「住之江ボートレース場・ボートピア梅田」  
参加者数 ファン入場者数 201,113 名 + 190,164 名

##### 2. びわこファミリーカーニバル 2016「ペアボート試乗会」「ゴムボート試乗会」における海事知識の普及事業

実施時期 平成 28 年 7 月 24 日(日)  
実施場所 滋賀県大津市「びわこボートレース場」  
参加者数 びわこファミリーカーニバル入場者 1,920 名

##### 3. ボートピア京都やわた・キッズカフェ マンスリーイベントにおける海事知識の普及事業

実施時期 平成 28 年 7 月 30 日(土)～8 月 21 日(日)  
実施場所 京都府八幡市「ボートピア京都やわた」  
参加者数 キッズカフェ マンスリーイベント参加者 約 800 名

##### 4. 2016 住之江フェスティバルにおける海事知識の普及事業

実施時期 平成 28 年 11 月 13 日(日)  
実施場所 大阪府大阪市「住之江ボートレース場」  
参加者数 住之江フェスティバル入場者数 約 4,000 人





びわこファミリーカーニバル 2016「ゴムボート試乗会」

## II、その他事業（相互扶助等の事業）

### 1、他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配布

#### （1）他団体との連携事業

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催・協賛・後援等を行ないました。

1. 第64回 港まつり花火大会（和歌山港振興協会）の協賛
2. 海の日海上安全祈願祭（大阪船主会・海上保安協会）の共催
3. 「海の日」のつどい（京都「海の日」実行委員会）の協力
4. 「海の日」記念行事（海南下津港湾振興会）の協力
5. 第42回マリンスクール（(株)串本海中公園センター）の後援
6. 天神祭渡御行事（大阪商工会議所）の協賛
7. 海上保安庁の巡視船による体験航海行事（貝塚港湾振興会）の後援
8. 第63回大阪地方海事団体硬式庭球大会（大阪地方海事団体硬式庭球大会運営委員会）の後援
9. 第43回堺港まつり（堺港湾振興会）の協賛
10. 新年海上安全祈願祭（大阪船主会・海上保安協会）の共催

#### （2）会議等

1. 平成28年4月21日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部午餐会
2. 平成28年4月27日（水） 於：大阪市 日本船舶職員養成協会近畿  
（一財）日本船舶職員養成協会近畿第5回評議員会
3. 平成28年5月18日（水） 於：大阪市 第一大阪港ビル  
（公社）大阪港振興協会監査
4. 平成28年5月19日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部午餐会
5. 平成28年5月23日（月） 於：大阪市 ホテル大阪ペイタワー  
平成28年度（公財）海上保安協会大阪支部総会

6. 平成 28 年 5 月 31 日 (火) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
(公社)大阪港振興協会平成 28 年度第 1 回理事会
7. 平成 28 年 6 月 6 日 (月) 於：大阪市 大阪港湾労働者福祉センター  
(一財)大阪港湾福利厚生協会平成 28 年度定時評議員会
8. 平成 28 年 6 月 9 日 (木) 於：大阪市 近畿運輸局  
平成 28 年度近畿若年内航船員確保推進協議会
9. 平成 28 年 6 月 17 日 (金) 於：大阪市 近畿運輸局  
第 38 回海の写真コンクール審査会
10. 平成 28 年 6 月 23 日 (木) 於：大阪市 近畿運輸局  
第 53 回中学生海の絵画コンクール審査会
11. 平成 28 年 6 月 24 日 (金) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
(公社)大阪港振興協会平成 28 年度定時総会
12. 平成 28 年 7 月 15 日 (金) 於：大阪市 大阪市役所  
大阪港港湾功労者表彰式
13. 平成 28 年 7 月 18 日 (海の日) 於：舞鶴市 舞鶴赤れんがパーク  
「海の日」のつどい
14. 平成 28 年 7 月 19 日 (火) 於：大阪市 海遊館ホール・ホテルシーガルて  
んぽーざん大阪  
平成 28 年「海の日」海事関係功労者表彰式典・祝賀会
15. 平成 28 年 7 月 21 日 (木) 於：大阪市 住吉大社  
平成 28 年海の日海上安全祈願祭
16. 平成 28 年 7 月 25 日 (月) 於：大阪市 大阪市役所  
第 1 回大阪港開港 150 年記念事業実行委員会
17. 平成 28 年 7 月 27 日 (月) 於：大阪市 近畿運輸局  
赤池誠章参議院議員との海洋教育に関する懇談会
18. 平成 28 年 8 月 15 日 (月) 於：大阪市 大阪市役所  
第 2 回大阪港開港 150 年記念事業実行委員会
19. 平成 28 年 8 月 18 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部午餐会
20. 平成 28 年 9 月 15 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部午餐会
21. 平成 28 年 9 月 23 日 (金) 於：大阪市 嶋屋喜兵衛商店  
大阪港開港 150 年記念事業実行委員会主催ワークショップ
22. 平成 28 年 10 月 5 日 (水) 於：大阪市 大阪市役所  
第 3 回大阪港開港 150 年記念事業実行委員会
23. 平成 27 年 10 月 5 日 (水) ～11 月 9 日 (水) 於：大阪市 大阪文学学校  
第 50 回中学生海の作文コンクール審査
24. 平成 28 年 10 月 20 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部午餐会
25. 平成 28 年 10 月 20 日 (木) 於：大阪市 大阪市役所  
第 4 回大阪港開港 150 年記念事業実行委員会
26. 平成 28 年 11 月 1・2 日 (火・水) 於：東京都 海事センタービル  
平成 28 年度全国海事広報協会事務局長会議

27. 平成 28 年 11 月 17 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部午餐会
28. 平成 28 年 11 月 22 日 (火) 於：大阪市 大阪市役所  
第 2 回大阪港開港 150 年記念事業推進委員会
29. 平成 28 年 12 月 15 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部午餐会
30. 平成 29 年 1 月 6 日 (金) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部新年祝賀交歓会
31. 平成 29 年 1 月 30 日 (月) 於：大阪市 住吉大社  
平成 29 年新年海上安全祈願祭
32. 平成 29 年 1 月 31 日 (火) 於：大阪市 アジア太平洋トレードセンター  
大阪南港コスモフェリーターミナル第二ターミナル 移転記念式典・お披露  
目会
33. 平成 29 年 2 月 15 日 (水) 於：大阪市 ヴィアーレ大阪  
大阪府営港湾・大阪港共同セミナー
34. 平成 29 年 2 月 16 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部午餐会
35. 平成 29 年 2 月 20 日 (月) 於：大阪市 大阪キャッスルホテル  
サロンセミナー「我が国のクルーズ振興」
36. 平成 29 年 2 月 24 日 (金) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部平成 29 年度通常総会
37. 平成 29 年 3 月 13 日 (月) 於：大阪市 近畿運輸局  
第 39 回海の写真コンクール準備会
38. 平成 29 年 3 月 14 日 (火) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
(公社)大阪港振興協会平成 28 年度第 3 回理事会
39. 平成 29 年 3 月 14 日 (火) 於：大阪市 近畿運輸局  
平成 29 年大阪地区海の月間実行委員会
40. 平成 29 年 3 月 16 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル  
大阪港振興倶楽部午餐会
41. 平成 29 年 3 月 16 日 (木) 於：大阪市 徐園  
大阪海事運輸連絡会

### (3) 海事広報宣伝物等の発行・配布

海洋環境について理解を深め、海や海事産業に親しみを深めてもらうため、(公財)日本海事広報協会をはじめとする海事関係団体等で作成された冊子・パンフレットなどの海事知識普及資料や海の日グッズ等を、「海の日」・「海の月間」関連行事や各港湾の港祭りなどの各種イベント参加者に配布しました。

主な海事広報宣伝物等の発行・配布は次のとおりです。

1. 近畿海事広報協会たより (1 月・7 月の年 2 回発行)
2. 海と船の雑誌・ラメール (隔月の年 6 回配布)
3. 海上の友 (毎月 3 回配布)

4. 日本の海運 SHIPPINGNOW2016-2017（中学校等へ配布）
5. ぼくとわたしのシップガイド（各種イベント等へ配布）
6. 海の日グッズ等（各種イベント等へ作成・配布）
7. 2017 世界の帆船カレンダー（会員・関係者へ作成・配布）



ぼくとわたしのシップガイド

### Ⅲ、庶務事項

#### (1) 総会

平成 28 年 5 月 10 日（火） 於：大阪市 ホテルプリムローズ大阪

1. 平成 27 年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 役員任期満了に伴う改選に関する件

#### (2) 理事会

##### ① 平成 28 年 4 月 21 日（木） 【書面による理事・監事全員の同意】

1. 平成 27 年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 平成 28 年度通常総会招集の承認に関する件
3. 役員任期満了に伴う改選に関する件
4. 顧問等委嘱の承認に関する件
5. 会員資格取得（入会）の承認に関する件  
前川一郎氏の入会を承認
6. 「公益社団法人近畿海事広報協会給与・旅費規程別紙」改正の承認に関する件

##### ② 平成 28 年 5 月 10 日（火） 於：大阪市 ホテルプリムローズ大阪

1. 会長、副会長及び業務執行理事の選定に関する件
2. 事業報告等に係る提出書の承認に関する件
3. その他（理事会確認事項、代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告）

##### ③ 平成 29 年 3 月 2 日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル 8 階会議室

1. 平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認に関する件
2. その他（代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告）

#### (3) 監査

1. 平成 28 年 4 月 11 日（月） 於：大阪市 当協会事務所  
当協会監事による平成 27 年度事業並びに収支状況の監査

# 平成28年度 決算報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

## (1) 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増 減(A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,809,874	1,303,995	505,879
前払金	134,920	131,680	3,240
未収金	0	0	0
立替金	80,000	80,000	0
流動資産合計	2,024,794	1,515,675	509,119
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事業特別積立資産	5,000,000	5,000,000	0
(2) その他固定資産			
事務所契約敷金	362,550	362,550	0
固定資産合計	5,362,550	5,362,550	0
資産合計	7,387,344	6,878,225	509,119
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	100,000	100,000	0
預り金	78,543	83,064	-4,521
流動負債合計	178,543	183,064	-4,521
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	178,543	183,064	-4,521
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	7,208,801	6,695,161	513,640
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
正味財産合計	7,208,801	6,695,161	513,640
負債及び正味財産合計	7,387,344	6,878,225	509,119

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

## (2) 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,212	1,800	-588	
特定資産受取利息	1,212	1,800	-588	
受取会費	8,690,000	8,760,000	-70,000	
普通会員	8,440,000	8,510,000	-70,000	
その他の会員	250,000	250,000	0	特別会員、賛助会員
事業収益	6,113,000	5,771,000	342,000	
受託事業収益	4,403,000	4,061,000	342,000	日本海事広報協会 日本モーターボート競走会
協賛金収益	1,710,000	1,710,000	0	海の日祝賀会等
受取負担金	206,800	106,800	100,000	
受取負担金	206,800	106,800	100,000	和歌山県海運組合等
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	167,687	171,679	-3,992	
受取利息	23	445	-422	
雑収益	167,664	171,234	-3,570	日本海事広報協会等
<b>経常収益計</b>	<b>15,178,699</b>	<b>14,811,279</b>	<b>367,420</b>	
(2) 経常費用				
事業費	12,505,536	12,887,978	-382,442	
制作費	229,360	249,688	-20,328	海の月間関係
イベント開催費	1,489,040	1,535,662	-46,622	海の日祝賀会等
広報宣伝物費	824,454	938,170	-113,716	海事広報資料作成・購入
表彰費	341,116	344,024	-2,908	各種コンクール関係
給料手当	3,680,000	3,840,000	-160,000	
臨時雇賃金	1,144,500	1,122,000	22,500	
福利厚生費	541,804	563,941	-22,137	
会議費	25,300	55,621	-30,321	
旅費交通費	366,716	381,406	-14,690	通勤費を含む
通信運搬費	414,278	443,997	-29,719	
消耗品費	282,321	481,776	-199,455	
印刷製本費	820,068	696,084	123,984	
賃借料	1,839,968	1,593,311	246,657	船賃・バス貸切・借室料等
保険料	28,197	41,018	-12,821	
諸謝金	200,000	200,000	0	審査料等
支払負担金	41,500	55,500	-14,000	共催行事等
支払助成金	215,000	335,000	-120,000	各地区海の月間行事等
雑費	21,914	10,780	11,134	



科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
管理費	<b>2,159,523</b>	<b>2,365,967</b>	<b>-206,444</b>	
給料手当	620,000	660,000	-40,000	
臨時雇賃金	212,000	396,000	-184,000	
福利厚生費	135,451	140,986	-5,535	
会議費	489,588	469,576	20,012	総会・理事会等
旅費交通費	83,624	87,824	-4,200	通勤費等
通信運搬費	204,708	171,466	33,242	
消耗品費	61,640	95,495	-33,855	
印刷製本費	35,856	23,490	12,366	
賃借料	165,792	166,414	-622	借室料・共益費等
支払負担金	115,000	115,000	0	各種会費等
雑費	35,864	39,716	-3,852	
経常費用計	<b>14,665,059</b>	<b>15,253,945</b>	<b>-588,886</b>	
当期経常増減額	<b>513,640</b>	<b>-442,666</b>	<b>956,306</b>	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計				
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	<b>513,640</b>	<b>-442,666</b>	<b>956,306</b>	
一般正味財産期首残高	<b>6,695,161</b>	<b>7,137,827</b>	<b>-442,666</b>	
一般正味財産期末残高	<b>7,208,801</b>	<b>6,695,161</b>	<b>513,640</b>	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	<b>7,208,801</b>	<b>6,695,161</b>	<b>513,640</b>	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。